

ホッケー部門競技要項

1. 参加資格

日本学生氷上競技連盟加盟校のうち、地区ごとに定められた枠数により出場権を得た各地区の代表21校と、前大会のベストエイト8校、および持ちまわり校1校(中部地区)の計30校。

北海道2、東北2、北信越1、関東7、中部1+1、関西5、中四国1、九州2、及び昨年度ベストエイト8校(北海道地区1、東北地区1、関東地区5、関西地区1)、計30校

2. 出場制限

- (1) ベンチ入りする選手は、ゴールキーパー最小1名、最大2名。プレイヤー最小10名、最大20名とし、ゴールキーパー1名を含み総勢11名未満のチームは出場資格を持たない。
- (2) 試合に際して、登録された責任者(チームを管理するスタッフ：監督、コーチ等)が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小1名、最大6名とする。
- (3) 外国籍学生の出場は1校につき2名以内とする。

3. 競技方法

- (1) 上記30校によるトーナメント戦により1位～5位を決定する。
- (2) 1回戦は、正味15分かける3ピリオド、それ以降は正味20分かける3ピリオドで行なう。インターバルは、10分とする。
タイムアウト(30秒)は全試合、各チーム1回使用できるものとする。
- (3) 第3ピリオド終了時点において同点の場合、下記の方法で勝敗を決定する。
 - ① 1回戦より準々決勝戦においては、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」(GWS)を行い勝敗を決定する。ノミネートは不要で3名で行い、リンクサイドは片面だけを使う。
なお、3名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式(2名セットで決着がいたら終わり：サドン・ビクトリー)で行い、タイ・ブレイクへ入ったら、同じ選手が何回続けてショットしても良い。
 - ② 準決勝戦、3位決定戦及び決勝戦は、第3ピリオド終了直ちに5分間のスケーター4対4によるサドン・ビクトリー方式の延長戦を行い勝敗を決定する。なお、延長戦のサイドは第3ピリオドと同様とする。延長戦でも決しない場合は国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」(GWS)を行い勝敗を決定する。
- (4) 練習時間は、1・2回戦は5分間、準々決勝戦は7分間、準決勝戦以降は10分間とする。
- (5) 日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。

4. シード

- (1) 前大会ベスト8進出校がシードされる。
- (2) ベスト4校は順位により定められた位置にシードされる。
- (3) 5位4校のシード位置は、秋季代表委員会において抽選し決定する。

5. 得点

ベスト8進出校に得点を与える。1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位(4校)は2.5点ずつとする。

6. 表彰

- (1) 優勝校には優勝杯を授与し、1～3位に賞状を授与する。
- (2) 全参加者のうち、1名に最優秀選手【MVP】賞を授与する。
- (3) ベスト4進出校のうち準々決勝戦からのポイントを計算し、【得点王】賞及び【アシスト王】賞を授与する。
- (4) 各ポジションごとに優秀選手を選出し、【ベスト6】賞を授与する。